

衆議院議長 様
参議院議長 様

2024年 月 日

北九州市議会議長 様
北九州市教育長 様

2024年 月 日

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、
教育無償化、教育条件の改善を！

小・中学校で、すべての学年を20人以下学級とし、
子どもたちに「ゆきとどいた教育」を求める請願

2024年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

請願趣旨

I 請願趣旨

長引く物価高騰で貧困と格差はますます広がり、子どもたちの成長・発達、心身に深刻な影響を与えています。OECD平均である20人程度の学級に比べ、学級規模は大きすぎます。高等教育における私費負担割合もOECD平均の倍以上です。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、教育の無償化実現や20人学級を展望した少人数学級のさらなる前進、教職員の増員、養護教諭や学校栄養職員・栄養教諭等の配置拡充等のゆきとどいた教育条件整備が必要です。小・中学校、高校、特別支援学校で、教職員の未配置が起きています。学校現場では病気休暇や産前産後休暇、育児休業などの代替教職員が見つからない「教育に穴があく」状況が数か月続くなど、いっそう深刻です。新年度の4月に教職員が足りず、担任が配置できない学校は各地で出ています。教職員の負担軽減をすすめるとともに、正規の教職員を増員することが求められています。あわせて、私立高校等経常費助成補助の大幅増額し、私学でも専任の教職員を増員できる条件整備をすることが必要です。

高校や大学等での教育無償化を実現するためにも、高等学校等就学支援金制度の拡充、給付奨学金制度のさらなる拡充など、国際人権A規約13条2項「無償教育の漸進的導入」を具体化し、子どもたちが安心して学べる教育条件整備を前進させるべきです。また、保護者の教育費の負担を軽減することが重要です。給食無償化は、給食の安全性を保った上で実現できる予算確保が必要です。

日本の「公財政教育支出の対GDP比(2020年)」は2.98%とOECD諸国の中で最低です。これをOECD諸国平均4.28%まで引き上げれば、小・中学校、高校までさらなる少人数学級の前進、公立・私学ともに就学前から大学まで教育無償化など、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備をすすめることが可能となります。

憲法と、批准30年を迎えた子どもの権利条約が生きて、輝く学校づくりをすすめるために、国の責任ですべての子どもにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備が行われるよう、以下、請願します。

どの子もすこやかに成長してほしいと心から願い、少人数学級の実現を求めて長年にわたって請願をおこなっています。北九州市が、県や国に対して「子どもたちの教育環境向上を求めて」意見書を提出していること、国に先だって35人以下学級を小学校全学年と中学校1年生で実施していることに敬意を表します。しかし、学校裁量となっている中学校2・3年生での35人学級実施は、新たな教員配置がない中では実現が難しい状況が続いています。

少人数学級の導入は時代の趨勢です。2020年度、新型コロナ感染拡大に対して、分散登校で感染の防止が図られ20人以下が基準と示されました。その時の体験から、「ゆきとどいた教育をすすめるために、学校生活の日常を20人以下として、児童・生徒の学習権を保障してほしい」との声が、全国で広がりました。さらにICT教育でのタブレット活用が加わり、個に応じた教育をさらに進めるためにも、少人数学級の実現が是非とも必要であり、これに見合う正規教員数の増加やスタッフの配置など、教育環境の充実を同時に行なうべきです。

しかし、現行の市独自措置は増員を行なわないまま少人数指導や習熟度別指導などの加配教員を担任に回しています。教員配置が定数どおりになされておらず、教員は多忙を極めています。ゆきとどいた教育と支障のない学校運営は、学級増に応じた教員の増加なされてこそ実現します。学力の向上に最も有効な教育条件は、子どもの学びに寄り添う少人数学級の実施です。

特別支援学級の子どもたちも少人数学級を望んでいます。個々様々な課題に対応して一人一人のニーズに合った特別支援体制での教育が求められています。国の基準8人を市独自措置で6人に引き下げるよう要望します。

「子育て日本一」をめざし、子育て世代が移住したくなる北九州市、子や孫の世代が戻ってくる北九州市となるためには、少人数学級の実現が不可欠です。

権限移譲により『北九州市独自で学級編制基準を制定できる』ことは、教育条件を改善する大きな力であると期待しています。

本市独自の施策として、小中学校のすべての学年で20人学級、そして特別支援学級では6人学級を実現してください。

20人学級の実現を求める北九州市実行委員会

取り扱い団体：北九州子どもと教育のために手をつなぐ会
連絡先 TEL/FAX：093-962-2639

ゆきとどいた教育をすすめる会

取扱団体 北九州子どもと教育のために手をつなぐ会

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力4-2-16 TEL/FAX (093)962-2639

請 願 項 目

1. 2025年度より「北九州市の学級編制基準」を改正し、小・中学校すべての学年で20人学級を展望し、さらなる少人数学級をすすめてください。
2. 「北九州市の学級編制基準」を改正しなかった場合、学級増に見合うように正規教員を増やし、小・中学校すべての学年で35人学級を実施してください。
3. 特別支援学級は、1クラスを8人から6人に減らしてください。

- ★署名は、主旨に賛同される方であれば、地域・年齢・国籍を問いません。
- ★住所が同じでも「同上」や「々」を使わず書いてください。
- ★署名は、この目的以外には使用しません。

北九州市提出

* この署名簿は目的以外には使用致しません。

氏 名	住 所

Ⅱ 請 願 項 目

1. 子どもたちのいのちと健康を守り、学ぶ権利を保障するため、教育予算を OECD 諸国並みに計画的に増やしてください。
2. 義務・高校標準法を改正し、国の責任で、中学校、高校での35人以下学級を早期に実現してください。小学校も含めて少人数学級をさらに前進させてください。自治体独自の少人数学級が維持でき、欠員が生じないよう、十分な教職員を確保してください。幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
3. 有期雇用ではなく、正規・専任の教職員を増員してください。
4. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - (1) 高校・大学等の学費無償化や高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - (2) 私学経常費助成補助の増額と高等学校等就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
 - (3) 給食無償化を実現し、安全安心な給食を提供できるよう、自治体への財政支援を国の責任ですすめてください。
5. 公立・私学ともに安全安心な環境のもとで学ぶことができるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - (1) 特別支援学校の過大・過密解消のため、国による財政支援の拡充、学校新設や既存校へ「設置基準」適用をすすめてください。
 - (2) 学校の耐震化・老朽化対策、洋式トイレやエアコンの普及、バリアフリー化をすすめてください。
6. 能登半島地震や東日本大震災などの自然災害、東京電力福島第一原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興を至急すすめてください。

国会提出

* この署名簿は目的以外には使用致しません。

氏 名 (フルネームで)	住 所 (番地までお書きください)
	都道 府県

※家族署名などの場合、名前(姓)や住所を「//」のように省略せずに記入してください